

九州ルーテル学院報 Luther No.13



Contents

校長就任のご挨拶 / 認定こども園創立 70 周年を迎えて	2
ようこそルーテルへ	3
聖書の言葉 / 新任教職員紹介	4
大学だより・保育園だより	5
中高だより	6
こども園だより / 卒業生だよりルーテルから海外へ	7
決算報告 / Luther information	8

校長就任にあたって



第14代

中学・高等学校校長

内村 公春

前任の林田先生のお働きを受け継ぎ、この4月より院長に加え、中学高校の校長を兼務することになりました。中高の現場には4年ぶりの復帰ですが、まだまだ手探り状態です。まず現場をしっかりと把握し、変えるべきところは変え、受け継ぐべきところは受け継ぎたいと考えています。

現在、社会の変動に合わせ、グローバル教育、ICT教育、アクティブラーニング等々に見られるように、教育も大きく変わることが喧伝されています。また大学入試制度も大きく変わります。こうした教育を取り巻く状況の中で、地域に根差す私学としてのより良い教育とは何かが求められているのです。でもいつも思うのは、一番大事にするべき原点とは何かということです。教育の本質はそう変わるものではありません。学びを通じ、人としての力をつけ、将来、「地の塩、世の光」として社会を支える存在となってくれる生徒を育てていく。これが外してはいけない大事な点だと思えます。

私たちには、学院の創立者であるエカード先生が示されたスクール・モットー「感恩奉仕」、つまり神さまの前に自らを省み、「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」(ヨハネによる福音書10章10節)とついで学院聖句に力づけられ、神さまと隣人に仕える「奉仕」を実践する者となるという人間像が与えられています。つまり、ルーテル学院中学高校の教育は、その人間像を目指しての日々の学び、教育でありたいのです。

なによりにも意欲に満ちた多くの教職員の方々がいます。そのお働きには本当に感謝しています。この教職員の方々と共に手を携え、この学院が、「来て良かった」「通わせて良かった」「卒業して良かった」そして「働いて良かった」学校となれるよう、神さまに祈りつつ努力していきたいと思っております。

創立70周年を迎えて



認定こども園

ルーテル学院幼稚園長 尾田 明子

ルーテル学院幼稚園は、今年度「創立70周年」を迎えます。1948年(昭和23年)九州女学院中学校の体育館の更衣室を借りて、21名の園児で始めた小さな幼稚園が、現在は定員180名の認定こども園として今日まで70年の歴史を歩み続けることが出来たことを感慨深く受け止めています。

九州女学院の歩みが幼稚園の設立に大きく影響しているのは勿論のことですが、0歳児を預かる子ども園になっている現在も、卒業生の保護者の方や、保育方針に賛同してお子様方をこの園に託してくださる多くの方々のおかげと心から感謝しております。

この幼稚園で保育・教育を受け果立っていった子どもたちが4000人を越えました。卒園生だけでなく、70年もの間ルーテル学院幼稚園の保育・教育が大切に継承されてきたのは、祈りと愛情をもってキリスト教保育を担ってきた、教職員の先輩や同僚の方々のおかげであり、同時にルーテル学院という大きな組織の中で温かく支えられ、守られてきたことに外なりません。

具体的な行事としては、8月以降「記念礼拝と式典」・「大同窓会」・「童謡コンサート」・「講演会」など、年間を通して幼稚園の「70歳のお誕生日」のお祝いを計画しているところです。園名変更や認定こども園など様々な出来事を経て迎えた70年ですが、その歩みが守られたことを神様に感謝し、これからも継承すべき務めに使命と誇りを持って新たな歩みを踏み出していきたいと思います。



設立当時の園舎(現在の大学3号館あたり)

始めの一步

青 藤 さん (お父さん組) 望月 伸竜様

お父様 望月 伸竜様

娘が登園を始めたときには、一日を機嫌よく過ごさせるのだからかと心配していましたが、優しい先生方に見守られながら、娘はすぐに保育園の生活に慣れました。送り迎えの時に、その日の子供の体調・機嫌、成長の様子、余談として印象的だった行動、などを情報交換するように先生方が配慮してくださるので、安心して送り出すことができます。給食もとてもおいしいので娘は毎日完食しているのです。

先生方やお友達とのふれあいで周りの人への関心がますます出てきたようで、目が合つと笑顔をみせ、声を出すようになってきました。保育園での生活を通じて、社会への第一歩を踏み出したような気がしています。娘には、まずは心身ともに健康で、前向きな意欲や関心をのびのびと培ってほしいと願っています。



元気をありがとう

橋本 さん (お母さん組) 橋本 智子様

お母様 橋本 智子様

ルーテル学院幼稚園は、私にとつて懐かしい思い出の場所です。

そして、今年から次女が入園し、娘2人がお世話になることになりました。

園は、自然に囲まれ、中・高・大学生とふれ合える環境で、自身が通っていたこともあり、安心してお願ひ出来るところです。入園当初は泣いていた娘も、帰る時には笑顔で楽しそうに園での出来事を話してくれる姿を見てみると、親として嬉しく思っています。子ども達には、自然を通して普段体験出来ない遊びや行事、たくさんのお友達と接することで感受性豊かな思いやりある心を育て、広々とした環境で丈夫な身体づくりをしてほしいと思っております。

長女がら歳になり、入園してからの2年間の成長は目覚ましく、この時期をルーテル学院幼稚園で過ごせたことは、親子共に貴重で大切な思い出になると思っています。



先生方や職員の方々には、それぞれの個性を活かして見守ってくださっていることに感謝いたします。

新しい環境のなかで

大学 心理臨床学科

1年 山口 夏美さん

入学式当日、緊張していた私の気持ちの大半を占めていたのは、新しい環境で上手くやっていけるかという不安でした。

しかし、チューターの先輩方を中心に休暇村・南阿蘇で行われた、4月6日～7日のフレッシュマンキャンプを終えて、自分の気持ちの変化を強く感じていました。1泊2日の期間はとも充実していて、たくさんのお友達とつながることができました。また、様々なオリエンテーションを通してルーテルについても深く知ることができ、不安な思いはいつの間にか消えていきました。今では、最初の不安が嘘のようにとともに楽しい毎日を過ごしています。

私は、現時点で将来、精神保健福祉士になりたいと考えています。しかし、日々の授業を通してもっと自分の視野を広げたいと感じたので、ボランティア活動やサークル活動に積極的に参加していきたいと思っています。充実したよりよい学校生活を送るために、これから頑張っていきます。



高校生になつて...

ルーテル学院高校

1年 許山 稜央さん

僕は4月10日にこのルーテル学院高校に入学しました。入学当初の僕は、新しい環境に慣れて高い生活を楽しめることが出来るか、不安もありました。しかし、入学から数日後には友人もでき、どんなクラスに馴染んでいきました。

また、礼拝や聖書の授業などの新しいこと、初めてのことに對して興味を持っていくうちに、学校や新しい分野を学んでいくことが楽しくなってきました。

僕は部活動には入るつもりはなかったですが、友人に誘われ部活動見学に行くと、とても楽しく、今では4つの部活に所属し、勉強と部活の両立を目指しながら、毎日が充実した学校生活を送ることができています。

僕はこれからの3年間、「この学院に来てよかった」と思えるような有意義な時間を過ごすことができるように、何事にも積極的に取り組んでいきたいです。



中学生になつてがんばりたい事

ルーテル学院中学校

1年 上塚 舞さん

私が中学生になつてがんばりたい事は、二つあります。一つ目は勉強も部活も中途半端にしないことです。私は今まで何事にも全力で取り組むようにしていましたが、結局、中途半端になっていました。だから、勉強も部活も人一倍がんばりたいと思います。

二つ目は、ルーテルの魅力の一つである英語の力をのばすことです。中学生になり、教科として初めて勉強するので先生の話をよく聞き、がんばりたいです。

三つめは、学校生活の態度です。電車やバスの中でも、ルーテル生として見られるので自分勝手な行動でルーテルの見方が変わるようなことは、ぜったいにしません。また、学校の中でも先生や先輩たちなどに失礼のないような行動を心がけたいです。

最後に私はこの三つを守り、ルーテル生としての誇りをもちながらさらなる目標に向かってがんばりたいです。



聖書の言葉

中高チャプレン 崔 大凡

「子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです。『父と母を敬いなさい。』これは約束が伴う最初の掟です。『そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きることが出来る』という約束です。」

(エフェソの信徒への手紙6章1〜3節)

「家族は社会の最小の単位」。良く聞く表現です。世界のほとんどの文化が家族を大切にすることを何らかの形で教え、勧めていると思います。そして、私たち一人ひとりのこの世界での出発も家族です。自分が色んなものを貰っているのも貰っているものを数え上げるなら、一番多くが家族を通して与えられているに違いありません。

キリスト教は宗教だから、家族よりは神という印象、あるいはキリスト教が初めて伝えられた時代、アジアの伝統的な文化に比べれば、親を大切にしないような(特に先祖を)先入観がどこにあったかも知れません。

今回の聖書の言葉は専ら両親に対する勧告です。キリスト教の教えの明文化された代表的な道徳律、十戒の中にも「あなたの父母を敬え」と示されています。十戒の項目を全部挙げなくても、人が敬うべき存在として神の次は「父母」と読めます。

この言葉から二つの表現に注目してみます。まず「主に結ばれている者として」です。つまりこれは「神を信じる人として」という意味です。神を信じる信仰的な視点からすれば、親も子も家族も神様が与えてくださった存在です。もし親を敬わないうるならば、それは神様が自分のために与えてくださった親を大切にしないことであり、神様が親を通して与えられる恵みを素

直に貰わず、否定することかも知れません。

「これは約束が伴う最初の掟です」とは、十戒の中で神様の約束が付いている最初の命令ということです。命令形で示されている十戒の文面の中で、「そうすれば」という接続詞で約束が付いている唯一の項目です。「父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることが出来る」。簡単に言い換えれば、父母を敬えば神様はその人に幸せを与えるという約束です。

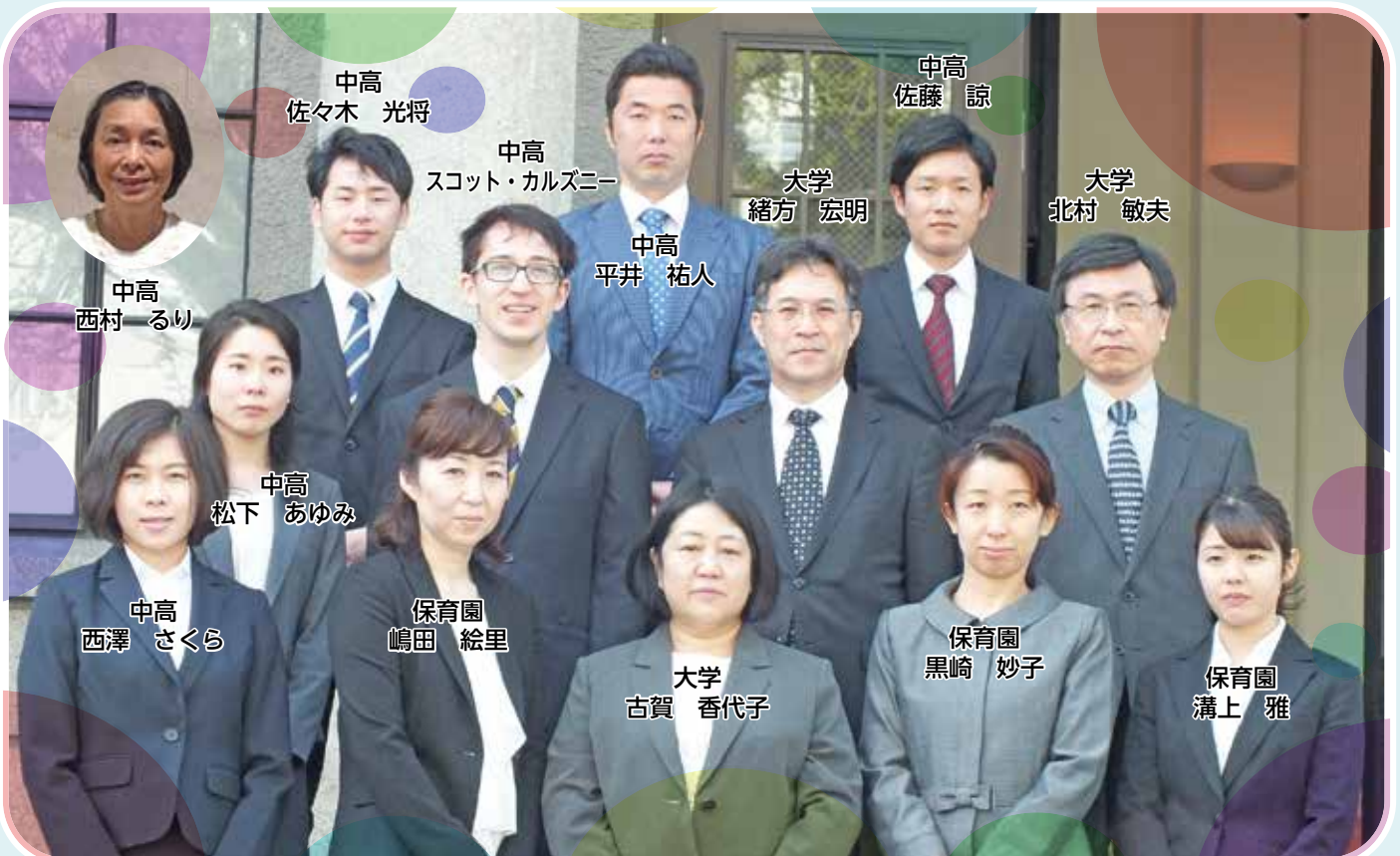
この学院に集まり、繋がっている私たち誰もが、まずは家族の支えがあつてこの学院に來ているはずで、神様への祈りをもって学び生活する私たちの学院として、家族自体が神様ではありませんが、神様が「この私のために」与えてくださった家族であること、ますます学ばべきであります。大切な存在あつての私たちの生活です。



崔チャプレン

●2018年新任教職員の紹介●

(敬称略)



『公認心理師』養成を開始します

九州ルーテル学院大学は、本年度より国家資格公認心理師の養成を開始することが認可されました。県内では唯一本学のみが養成に着手します。

公認心理師は、我が国初の心理職の国家資格として、昨年9月に法律が施行されました。心理的支援が必要な人やその関係者に対し、保健医療、教育、福祉、労働などの多様な分野で心理状態の観察・分析、相談・援助等の仕事を行います。大学で所定の科目を履修して卒業した後、所定の要件（大学院修了等）を満たすことで国家試験の受験資格が得られます。

本学では人文学部心理臨床学科にカリキュラムを設け養成にあたります。また、大学院での養成についても検討しています。

心理臨床学科長 河田 将一

九州ルーテル学院大学は
心理職初の国家資格
公認心理師
の養成認可を受けました

公認心理師とは？

心理学の専門知識や技術をもって、心理的支援が必要な人やその関係者に対し

- ▶心理状態の観察・分析
- ▶相談・助言・指導・援助
- ▶心の健康に関する教育・情報提供を行う仕事です

活躍の場は？

- 医療分野
病院の精神科、心療内科など
- 福祉分野
児童相談所、療育施設、福祉施設など
- 教育分野
公立学校や私立学校のスクールカウンセラーなど

公認心理師になるには？

認可された大学で指定科目を学んだ後、**大学院に進学または実務経験を積んで、国家試験に合格する必要があります**（最短で6年かかる）

学部（4年）で
指定科目を受講
(実習80時間を含む)

※臨床心理士とは異なり、
学部から心理学を学ぶ必要
があります

+

大学院（2年）で
指定科目を受講
(実習450時間を含む)

または

認定プログラムのある
施設での実務経験
(標準3年)

→

国家試験受験

→

合格

本年度より、本学人文学部心理臨床学科にカリキュラムを設け、公認心理師の養成にあたります

大学院の公認心理師カリキュラムも準備を進めております

<本件お問い合わせ先> kounin@klc.ac.jp , 096-343-1600 (代表)

4号館1Fにラーニング・commons LEAPが新しくオープンしました

学生一人ひとりの主体的な学びと学修支援を行うことを目的として、4号館1Fにオープンしたのがラーニング・commons LEAPです。LEAP（英語で「飛躍」を意味する）は Learning & Education Assembly Place を意味し、学生が課外での自主的な学びを通して、さらに飛躍することを期待して名づけられました。桜並木に面したカウンターには7人が座ることができるバースツールが置かれ、携帯などの充電もできるようになっています。他にも8人が一度に座って協働学修ができる大テーブルが4台、6人で座る中テーブルが7台設置されています。テーブルや椅子の組み立てには、教職員だけでなく、主に学生自治会の学生も参加して、教職員と学生が力を合わせて組み立て作業を行いました。オープン直後から毎日多くの学生が集まり、一人カウンターで自習する学生、友達と話し合いをしながら課題をする学生など、それぞれが思い思いのスタイルで学修する様子が見られます。

ラーニング・commons WG 長 松本充右



はじめまして

九州ルーテル学院大学付属

黒髪乳児保育園

園庭の花壇に赤、黄、ピンクの可愛いチューリップの花が咲く3月、8名のおともだちが保育園を巣立ちました。

そして、4月、18名の新しいおともだちが入園し、全園児47名のおともだちで2018年度がはじまりました。笑ったり、泣いたり、たくさん遊んだり、給食をパクパク食べたり・・・と保育園は子どもたちのキラキラ輝く姿で満ち溢れています。

4月21日には、九州ルーテル学院大学の体育館で、お家の方と一緒にのお見知り遠足を行いました。体操をしたり、お家の方の手作りのお弁当を食べたりと楽しいひとときを過ごしました。

また、保育園に新しい玩具（滑り台、巧技台、ソフトマット）も加わり、こどもたちは登ったり、滑ったりと体をのびのびと動かし、元気に過ごしています。

2018年度も、子どもたち、保護者の方、保育士の笑顔いっぱい園生活を送っていきなさいと思います。



野々島グラウンド『人工芝』完成！

かねてより人工芝化に向けて改修工事を行ってまいりました野々島グラウンドが、2018年3月28日に正式に竣工の運びとなりましたことをご報告申し上げます。

これにより、同グラウンドは、「人工芝（1面半）」と「天然芝（半面）」を併せ持つ「グリーンフィールド」となり、全国でも

ーグラウンドへ生まれ変わりました。

高校（男女）の各リーグ戦やトーナメント戦等の公式戦も数多く開催されまでも多くの方にご来場いただければ幸いです。

の特色は、人工芝ロングパイル（イタリアSit-inSport社製）の耐久性が業界最優っており、従来品と比べて非常に折れにくく設計されているということです。

目も美しく、天然芝と同様の色合いや形状をしています。

芝間に充填する緩衝材は積水樹脂社製のフルカラーゴムチップを採用、これは粒状で軽いだけでなく、色落ちもしないので、着色することはありません。

チップの色は茶褐色となっており、このため遠目から見ると、全く土と天然芝とのコントラストのような錯覚に陥ります。



ルーテル学院 野々島グラウンド
合志市野々島 4394-54

天然芝

天然芝

クラブハウス

加えて、ゴムチップの量もふんだんに入れてあるので、弾力性にも優れており、選手の足腰への負担が大幅に軽減できます。このため、人工芝のデメリット面である疲労による怪我等の予防にも役立ちます。

このような周囲に誇れる人工芝グラウンドで活動できることに、私どもサッカー部は唯々感謝の念に堪えません。ひとえに皆様のご理解、ご支援があったればこそと心より御礼申し上げます次第です。

これからの私どもの責任は、一日でも長く良好な状態を維持することだと考えておりますので、この精神を一時も忘れることなく手入れを励行し、自己修養に努め、学院のさらなる発展に寄与して参ります。サッカー部監督 小野秀二郎

— Luther から 海外へ —

ドイツつれづれなるままに。

宮本 華子

(S 58 回生 H 24 / 4 / H 28 / 3 まで中高美術非常勤講師)

2016年10月末にドイツに転居してから、一年半ほど経ちます。

最初の1年はワーキングホリデービザを利用し、今は自営業ビザ（ドイツでは音楽家や美術家は自営業ビザの枠に入る）を取得し、ベルリンで生活しています。

ドイツに来たきっかけは、阿蘇の高森のレジデンススペースに滞在していたドイツ人の女性作家に出会い意気投合し、彼女の育った国に興味を持ったことでした。

彼女のおかげで、沢山のドイツ人やヨーロッパ人と知り合い、アトリエと家を見つけたことが出来ました。今、ベルリンは家やアトリエを見つける事、長期のビザを取得することは非常に難しいです。それが出来たのは、間違いなく助けてくれた周りの人達のおかげです。

海外で生活する事は異文化に触れ、直にそれらを学んでいく事です。新しい物、出来事への遭遇の連続という環境ですが、その中で現在、最も感じているのはここに至る以前に出会っていた人たちとの「繋がりの」です。ここまで遠くに来たのですから、それらの影響は少なくなるかと思いきや、そんなことはなく、か細い私の生活を助けてくれるのはその過去からの付き合いの人達です。そして、過去は毎日増えていき、その「繋がりの」ある人は増えていきます。

良くも悪くも、行いはすべて還ってくるのだと、ひしひしと実感させられます。昔、祖母が「恥ずかしくない行動をこなせよ」と言っていました。そののだと思えます。どこに住もつと何をしようかと、自分自身がそれを恥ずかしいと感じないか、それは重要なことだと心底気づき始めたドイツでの今頃の頃です。



菌ちゃん先生が来たよ！



幼稚園では昨年度より本格的に食育に取り組んでいます。そのうちのひとつが、「生ごみサイクルで元気野菜づくり」。無農薬でも虫が来ない元気な野菜を育てると同時に、自分の命と土とのつながりを体感し、私たちは微生物という目に見えない小さな生き物に支えられ、生かされていることを学びます。

今年もNPO法人大地といのちの会（長崎県佐世保市）より吉田俊道先生にお越しいただき、子どもたちと土作りからはじめました。

元気野菜づくりの基本は、土の中の菌ちゃんをいっぱいにすること。ごはんは生ごみ！子どもたちは菌ちゃんが食べやすいように小さくちぎり、木づちでたたきます。「みかんの匂いがするね」「きゃー。野菜の汁が飛んできたー！」と大騒ぎしながら、菌ちゃんのごはんづくり。

そのあと、ぼかしで和えて畑の土と混ぜ、菌ちゃんのお布団をかけてできあがり。みんなで「菌ちゃんががんばってねー！」と声をかけました。これから野菜を植え付ける1か月後まで、土がどのように変化していかを子どもたちと観察していきます。



畑の後は吉田先生のお話を聞きました。心も体も元気になるための食のお話です。「甘いジュースはお誕生日の時だけだよ」「いりこを毎日10匹食べると風邪をひきにくくなるよ」「野菜には元気な時期と元気でない時期があるから、元気な時期の野菜を食べると私たちも元気になれるんだよ」先生の楽しい語りかけに、子どもたちは目を輝かせながらしっかり聞いていました。

幼稚園では、去年から吉田先生のお話の内容を給食で実践し、今年の冬はインフルエンザでのクラス閉鎖がゼロでした。これからも子どもたちと一緒に職員も、勉強していく予定です。

こども園栄養士 永野 智子

卒業生だより

国際協力に関わって

国際協力機構（JICA）業務調整専門家
古閑純子（S31生 現ガナナ派遣）

九州女学院を卒業して40年。在学時に漠然と「英語で生活ができれば」と思っていました。卒業後アメリカに留学、その後縁あって国際協力機構などの国際協力に関わる仕事につき、1995年のタンザニアを皮切りにナイジェリア、ケニア、ガーナと約14年間保健分野の国際協力に関わっています。一番長いナイジェリアは9年半滞在し、その間ラゴス州の妊産婦と乳幼児の健康改善を目指し助産師さんの技術向上及び保健医療施設の改善のための支援を行いました。施設改善では日本の「整理・整頓・清掃」を取り入れ、医療従事者の業務の効率化や患者中心の保健サービスの提供ができる環境づくりに取り組みました。

その後は、商業都市ラゴス州に増加するスラムの居住者を対象としたプロジェクトに参加し、スラムに住む人々が適切な保健サービスを受けられるよう保健出張サービスなどの活動を行いました。

現在はガーナにある野口記念医学研究所（野口英世の功績を称え日本政府の支援で建てられた研究所）を拠点に、日本の研究機関との共同研究プロジェクトに参加しています。

日本人にはあまりなじみのないアフリカですが、いろいろな方にアフリカのことをもっと知ってもらえればと思います。



保健医療施設のスタッフと一緒に（中央）



保健功労賞授賞式



Luther Information

2018年度 オープンキャンパス サマースクールのお知らせ

大学 **7/28(土)** **8/25(土)**

10/27(土)

高校 **7/14(土)** **9/8(土)**

中学 サマースクール

7/25(水) **7/27(金)**



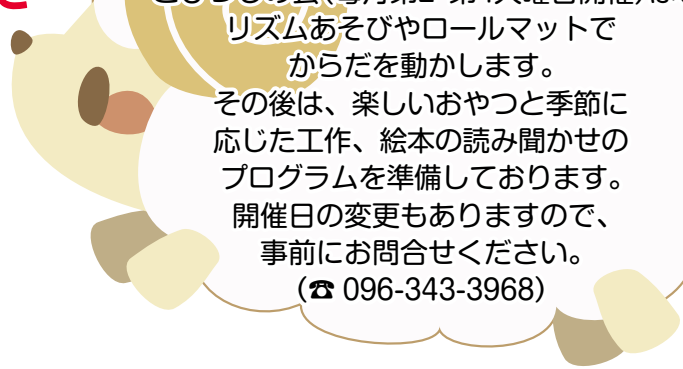
☆こども園「こひつじの会」 ～こども園が行う子育て支援 (未就園児親子の集い)～

こひつじの会(毎月第2・第4火曜日開催)は、
リズムあそびやロールマットで
からだを動かします。

その後は、楽しいおやつと季節に
応じた工作、絵本の読み聞かせの
プログラムを準備しております。

開催日の変更もありますので、
事前にお問合せください。

(☎ 096-343-3968)



◇事業活動収支計算書(学院全体)

2017年4月1日から2018年3月31日まで(単位:千円)

		科 目	決算額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,266,992
		手数料	26,993
		寄付金	20,780
		経常費等補助金	660,687
		国庫補助金	122,088
		地方公共団体補助金	538,599
		付随事業収入	69,878
		雑収入	49,927
		教育活動収入計	2,095,257
		事業活動支出の部	人件費
	教育研究経費		451,873
	管理経費		191,616
	徴収不能額等		695
		教育活動支出計	2,038,669
		教育活動収支差額	56,588
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	162
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	162
	事業支出の部	借入金等利息	5,121
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	5,121
		教育活動外収支差額	△ 4,959
		経常収支差額	51,629
特別収支	事業収入の部	資産売却差額	283
		その他の特別収入	45,179
		特別収入計	45,461
	事業支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
		特別収支差額	45,461
〔予備費〕			
		基本金組入前当年度収支差額	97,090
		基本金組入額合計	△ 131,576
		当年度収支差額	△ 34,486
		前年度繰越収支差額	△ 1,998,760
		基本金取崩額	0
		翌年度繰越収支差額	△ 2,033,246
(参考)			
		事業活動収入計	2,140,880
		事業活動支出計	2,043,790

*千円未満四捨五入の為、各費目の合計額と各合計欄とは一致しない。

◇貸借対照表

2018年3月31日現在(単位:千円)

		科 目	年度末
資産の部	資産	固定資産	4,655,163
		有形固定資産	4,389,768
		土地	1,493,859
		建物	2,089,784
		その他の有形固定資産	806,125
		特定資産	251,000
		その他の固定資産	14,395
		有価証券	50
		流動資産	882,312
		現金預金	765,427
その他の流動資産	116,885		
		資産の部合計	5,537,475
負債の部	負債	固定負債	684,701
		長期借入金	417,744
		その他の固定負債	266,957
		流動負債	240,820
		短期借入金	73,166
		その他の流動負債	167,654
		負債の部合計	925,521
純資産の部	純資産	基本金	6,645,199
		第1号基本金	6,482,199
		第4号基本金	163,000
		繰越収支差額	△ 2,033,246
		純資産の部合計	4,611,954
		負債及び純資産の部合計	5,537,475

会計報告 2017(平成29)年度

本法人の2017年度決算は、表のようになりました。より詳しい報告は、大学ウェブサイトの「情報公開」の「財務報告書」と「事業報告書」をごらんください。

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当します。基本金組入前当年度収支差額は(経常利益に相当)96百万円となり前年度決算より約2千8百万円の減少となりました。

収入の基礎となる園児・生徒・学生の募集は順調です。

また、サッカー場人工芝工事1億8百万円(借入5千万円)、中高駐輪場隣接地購入2千7百万円(借入2千万円)等 総額1億3千5百万円の施設設備投資を実施しました。

このようにして、園児・生徒・学生の授業料は確実に教育の改善と財務体質の強化に活かされていることを、感謝してご報告します。(事務局長・百家裕幸)

Luther
九州ルーテル学院報
No.13

発行 学校法人 九州ルーテル学院
発行日 2018年6月29日
編集 九州ルーテル学院報編集委員会
印刷 ㈱新生社印刷 熊本支店

ご意見・ご感想は編集委員会まで

〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL.096-343-3111
shomu@klc.ac.jp

感恩奉仕
～ Gratitude and service ~